

## 令和3年度 事業報告

令和3年度の発酵乳・乳酸菌飲料市場は、国民の健康志向に支えられほぼ前年並みに推移した。一方、消費者の食品安全、食品表示への関心はさらに高まった。食品安全関係では、HACCPの制度化を柱とした改正食品衛生法が施行された。また食品表示については、令和4年4月、新しい加工食品の原料原産地表示制度が適用されるなど業界を取り巻く環境は大きく変化した。

これらの状況の下、本協会は、①食品安全の推進、②経営及び流通の合理化、③乳酸菌情報の積極的な発信を重点課題として事業を実施した。

### 1. 衛生及び品質の向上に関する事業

#### (1) 行政情報の収集・提供及び業界意見の提出

- ア. 発酵乳・乳酸菌飲料の衛生・品質及び表示に関する行政情報を収集、または行政からの依頼を受け、会員に提供した。  
(電子媒体84件)
- イ. パブリックコメント募集案件に関する会員への情報提供は3件、協会として意見提出は1件であった。
- ウ. 令和3年6月に公布された「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」、食品添加物の表示に関する規制強化の動きなど、特に会員の関心が高いと考えられる事項について、幅広く情報収集し、会員への情報提供に努めた。

#### (2) 食品表示セミナーの開催

加工食品の原料原産地表示制度など新しく適用される表示基準への理解を深め、表示の適正化を図ることを目的とした消費者庁担当官による行政セミナーをウェブセミナー形式で実施した。

##### ア. 開催日、参加者数

令和3年8月5日、191名(非会員17名含む)

#### イ. 演題

- － 食品表示基準等について
- － 食品の広告・表示規制の動向について

講師：表示対策課 ヘルスケア表示指導室 田中 誠 室長

### (3) 「HACCP衛生管理の手引書」の作成・周知

- ア. 厚生労働省における検討会での審議を経て「HACCP衛生管理の手引書（発酵乳・乳酸菌飲料）」を完成させた。
- イ. 本手引書は厚生労働省ホームページで令和3年8月に公表され、会員・非会員(非会員は213社・団体)にメールや郵送で周知を行った。

### (4) 「HACCP衛生管理の手引書」eラーニング講習の実施

HACCP衛生管理に係わる担当者を対象として、HACCPの基礎知識や「HACCP衛生管理の手引書（発酵乳・乳酸菌飲料）」のポイントを解説するeラーニング講習を実施した。

#### ア. 実施日、受講者数

令和3年10月27日～12月24日（令和4年3月31日まで継続配信）、388名（非会員5名含む）

#### イ. コンテンツ

- － HACCPによる衛生管理
- － HACCP 7原則 PART①
- － HACCP 7原則 PART②

### (5) 生産技術・衛生講習会の実施

製造現場担当者を対象として、「HACCP衛生管理の手引書（発酵乳・乳酸菌飲料）」をベースにした衛生管理計画の実例や実際の製造現場における衛生管理のポイントの習得を目的とした講習会をeラーニング形式で実施した。

#### ア. 実施日、受講者数

令和4年2月1日～3月31日、505名（非会員14名含む）

#### イ. コンテンツ

- － HACCP手引書の具体的な解説と運用
- － 食品工場における衛生管理

なお、発酵乳・乳酸菌飲料関連の微生物に関する検査技術の習得を目的とした微生物検査研修会は、研修会場での実習が必要となり、ウェブセミナーやeラーニング形式での実施が困難であるため、次年度開催とした。

## 2. 製造技術・製造施設の改善及び経営・流通の合理化に関する事業

会員企業、賛助会員である食品機械・素材メーカー及び流通大手企業を訪問し、取材記事を「乳酸菌ニュース」に掲載した。

### (1) 会員企業における経営理念、事業展開、今後の戦略等

協力企業：令和3年度は掲載なし

(新型コロナウイルス感染症の影響により取材せず)

### (2) 当協会賛助会員である食品機械・素材メーカーにおける最新の食品製造技術等

協力企業：菱熱工業(株)

### (3) 流通大手における発酵乳・乳酸菌飲料の売れ筋、今後の販売戦略等

協力企業：(株)遠鉄ストア

## 3. 知識の普及・消費の増進に関する事業

発酵乳・乳酸菌飲料の保健機能、安全性等に関する情報を機関誌「乳酸菌ニュース」、「はつらつファミリー」及び協会ホームページを活用して発信した。

### (1) 「乳酸菌ニュース」

ア. 主な内容

(ア) 学術情報

「病原性微生物による食中毒の発生状況と衛生管理」

(高橋 亨 厚生労働省 医薬・生活衛生局 食品監視安全課  
食中毒被害情報管理室 室長補佐)

「腸内細菌叢と Well-being ～フレイル・サルコペニア予防は腸内環境がポイント～」

(内藤 裕二 京都府立医科大学 大学院医学研究科 教授)

(イ) 行政情報

- － 食品用器具及び容器包装の規制
  - － ポジティブリスト制度について－ (厚生労働省)
- － 最近の牛乳乳製品をめぐる情勢について  
(みどりの食料システム戦略について) (農林水産省)
- － 健康食品に関する最近の景品表示行政の動向 (消費者庁)
- － 「年頭挨拶」 (関係省庁課長)

(ウ) 健康情報

- － 「コンビニ食の賢い使い方」  
(平澤 芳恵 (独)労働者健康安全機構 東京労災病院  
治療就労両立支援センター 管理栄養士)
- － 「運動＋乳製品摂取による熱中症予防」  
(能勢 博 信州大学大学院医学系研究科 特任教授)
- － 「世界のアスリートを取り巻く栄養トレンド」  
(橋本 玲子 (株)Food Connection 代表取締役／管理栄養士)

(エ) 統計情報

発酵乳・乳酸菌飲料の生産量 (農林水産省調査等) 及び  
都市別1世帯当たりの支出金額 (総務省家計調査)

(オ) その他関連書籍、新聞雑誌での掲載記事等

イ. 発刊頻度/部数：年4回/各1,200部

ウ. 配布先：会員、関係行政機関、消費者団体、栄養士会、消費生活センター、都道府県図書館等

(2) 「はつらつファミリー」

一般消費者向けの健康情報の発信を目的とした冊子

ア. 主な内容

- － 「生活習慣病の予防」に関すること
- － 「腸内細菌叢と健康」に関すること
- － 「児童及び高齢者の生活改善」に関すること
- － 「乳酸菌の基礎知識」に関すること

イ. 発刊頻度/部数：年3回/各10,000部

ウ. 配布先：会員、関係行政機関、消費者団体、栄養士会、消費生活センター、食生活改善推進員団体連絡協議会等

### (3) 「協会ホームページ」

#### ア. 利便性の向上

- ー トップページに、ホームページ内のコンテンツ検索機能を追加し、ユーザーの利便性向上を図った。

#### イ. 主なコンテンツ（見出し）

- ー 発酵乳・乳酸菌飲料について
- ー 乳酸菌について
- ー 食生活と健康情報
- ー 協会・協議会について
- ー 会員向けサイト

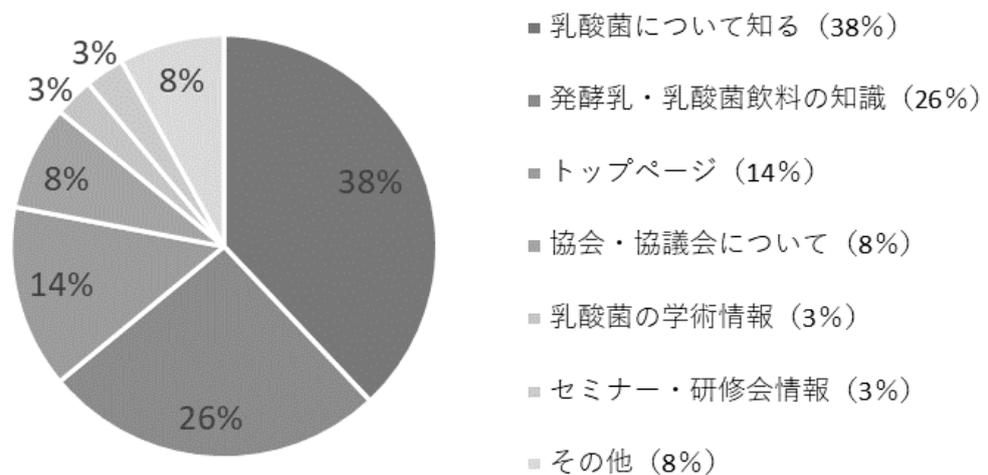
#### ウ. 更新頻度：年5回

#### エ. ホームページ利用状況

アクセス数：115,596件

※ 昨年比94%（昨年度 122,613件）

### 令和3年度ホームページアクセス数（割合）



## 4. 情報・資料の収集及び提供に関する事業

### (1) 国際食品規格計画（コーデックス）に関する情報

政府主催の連絡会議、日本国際酪農連盟の委員会等に出席し関係情報を収集した。

「食品、サプリメント等に使用されるプロバイオティクスについての定義、安全性、有効性等を規定するガイドライン」について、令和3年11月に開催されたコーデックス栄養・特殊用途食品部会では討議されず、令和5年3月開催予定の同部会で新規活動項目として採択するかどうかを決定することとなった。

## 5. その他本会の目的達成に必要な事業

### (1) 相談事業

発酵乳・乳酸菌飲料の特性・品質に関するマスコミ、会員等からの問い合わせに対応した。

問い合わせの件数：合計78件

※ 内訳：マスコミ12件、会員30件、消費者10件、その他26件  
昨年比 76%（昨年度の合計103件）

### (2) 環境問題への対応

ア. 環境問題に関する会員同士の情報交換の場とするため、「環境問題に関する勉強会」を新たに設置し、外部専門家からのプラスチック資源循環に関する情報提供、勉強会メンバー間での情報交換等を行った。

イ. 紙製容器包装リサイクル推進協議会、プラスチック容器包装リサイクル推進協議会等の3R関係団体が実施する展示会の運営に協力する等、食品容器包装の環境問題の啓発活動に参加した。

### (3) 訪問販売の規制への対応

訪問販売に対する消費者の要請に適切に対応するため、経済産業省及び関係団体と連携を強化するとともに関連情報の収集等を行った。

#### (4) 新会員の勧誘

非会員に対して、HACCP衛生管理に関するeラーニングや生産技術・衛生講習会への参加を呼びかけるとともに協会への加入を勧めた。令和3年度においては、正会員として、淡路島牛乳(株)が新たに加入し、いかるが乳業(株)が退会した。

また、賛助会員として、クリスチャン・ハンセン・ジャパン(株)、サッコシステムジャパン(株)が新たに加入し、日本食品化工(株)、アイ・エフ・エフ日本(株)が退会した。

これにより、令和3年度末会員数は、119社(正会員64社、賛助会員55社)となった。

	R 3 . 3	R 4 . 3	増 減
正 会 員	6 4 社	6 4 社	増減なし
賛助会員	5 5 社	5 5 社	増減なし
合 計	1 1 9 社	1 1 9 社	増減なし

以 上

#### (注) 事業報告に係わる附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。